「小学校算数の指導改善に向けた教師の学び」オンライン研修

第3回 算数授業お悩み相談会

令和8年10月29日(木) 15:55～16:40

岡山県教育庁義務教育課学力向上対策班

みなさんから寄せられたお悩み　※10月23日時点

お悩み①　領域の特性と系統性を踏まえた指導

1. 変化と関係領域で、ここは必ず押さえておいてほしいことは、何ですか。
2. 速さや割合の単元の定着が難しい。「もとにする量」や「～を1とみる」という感覚をつかませるのが難しい。学区の中学校では関数を苦手とする生徒が多いと聞いたので、中学校の学習につなげるために意識するポイントを知りたい。
3. 「割合」の確実な定着にむけて、下学年時から気にしておくべき指導にはどのようなものがありますか。
4. 「割合」と聞いて拒否反応をすぐに示してしまう。
5. 全体の量、1あたりの量はわかっているが、答えの導き方がわかっていない児童が多い。

みなさんから寄せられたお悩み　※10月23日時点

お悩み②　具体と抽象を関連付ける指導の工夫

6．問いに対する見通しをもたせる手立て

7．問題文の内容を図に表すことや、立式することが非常に難しい児童が多く、指導が難しいです。

8．量感をもたせること

9．割合の単元でことばの式（もとにする量・比べる量・割合）を理解させるのが難しい。

13.X.Yなどの、記号が出てきたら、一気に難しく感じる様子がある。

14.知的学級6年生を担当しているのですが、比例と反比例の単元で、 比例の関係を「y÷x＝決まった数」や「y＝決まった数 × x」の式で表すことが大変だと予想しています。x、yなどがある式をイメージしやすくする方法があれば教えてほしいです。 また、グラフに表すことも難しいと考えています。グラフを大きくしたり、縦軸と横軸を色分けする等の支援を考えているのですが、グラフをもっと読み取りやすく、的確に情報を整理できる支援方法があれば、教えてほしいです。

15.データと言葉を結びつけて思考する力が十分でなく、言葉で説明することが難しかったり、いろいろな言い方で聞かれると、わからなくなったりするので悩ましいです。

16.多様な考えを引き出したり、多様な子どもたちが活躍できたりするにはどうしたらいいのかを学びたいと考えています。

17.5年「割合とその活用」「速さ」の単元で、算数が苦手な児童もすっきりと理解できる指導の仕方

みなさんから寄せられたお悩み　※10月23日時点

お悩み③　個のつまずきに応じた支援

18.単位量当たりの大きさ、割合の継続的な指導。1時間の授業で？のついた児童は次の時間からも？が増えていく一方。どのようにして継続して指導するのが効果的か。また、例えば5年の単位量当たりの大きさの1時を1時間で収めるには、どのような流れが児童にとって良いのか。児童の実態としては、中間層が少ない、上下層が半々だとした場合。

みなさんから寄せられたお悩み　※10月23日時点

お悩み①　領域の特性と系統性を踏まえた指導

1. 変化と関係領域で、ここは必ず押さえておいてほしいことは、何ですか。
2. 速さや割合の単元の定着が難しい。「もとにする量」や「～を1とみる」という感覚をつかませるのが難しい。学区の中学校では関数を苦手とする生徒が多いと聞いたので、中学校の学習につなげるために意識するポイントを知りたい。
3. 「割合」の確実な定着にむけて、下学年時から気にしておくべき指導にはどのようなものがありますか。
4. 「割合」と聞いて拒否反応をすぐに示してしまう。
5. 全体の量、1あたりの量はわかっているが、答えの導き方がわかっていない児童が多い。

領域の特性と系統性を踏まえた指導　※お悩み1・2への回答

小学校「C 変化と関係」

学年	内容
4年生	1 伴って変わる二つの数量 変化の様子と表や式、折れ線グラフ 2 簡単な場合についての割合 簡単な場合についての割合
5年生	1 伴って変わる二つの数量の関係 簡単な場合の比例の関係 2 異種の二つの量の割合 速さなど単位量当たりの大きさ 3 割合（百分率） 割合／百分率
6年生	1 比例 比例の関係の意味や性質／比例の関係を用いた問題解決の方法／反比例の関係 2 比 比

中学校「C 関数」

学年	内容
1年生	比例、反比例 ・関数関係の意味 ・比例、反比例 ・座標の意味 ・ 比例、反比例の表、式、グラフ
2年生	一次関数 ・事象と一次関数 ・ 二元一次方程式と関数 ・ 一次関数の表、式、グラフ
3年生	関数$y = ax^2$ ・事象と関数$y = ax^2$ ・ いろいろな事象と関数 ・ 関数$y = ax^2$ の表、式、グラフ

（小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 算数編 P.14～17参照）

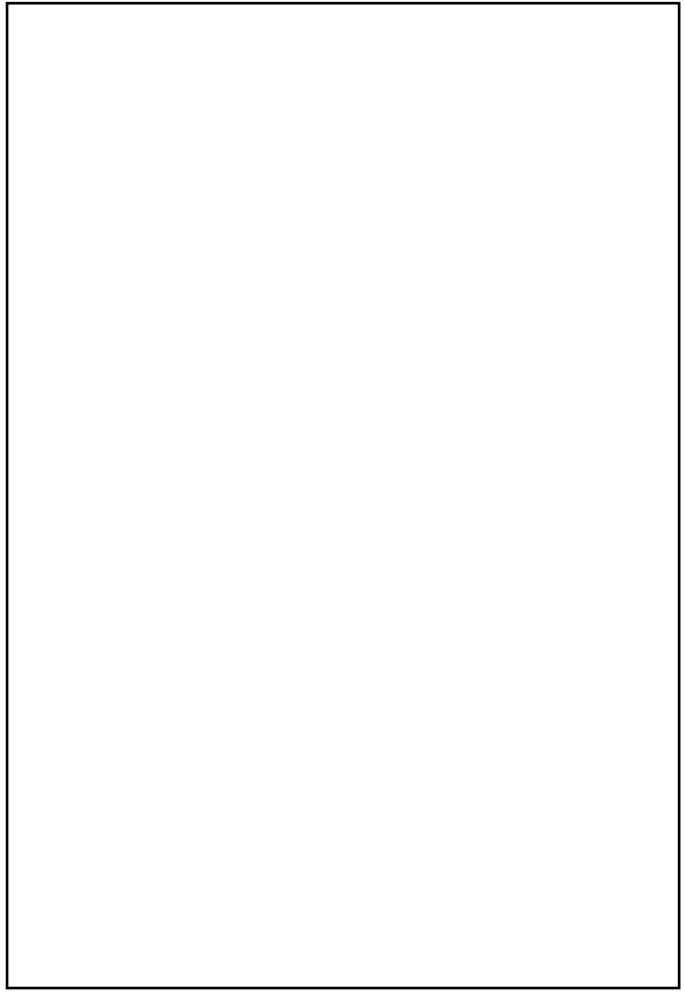
領域の特性と系統性を踏まえた指導　※お悩み1・2への回答

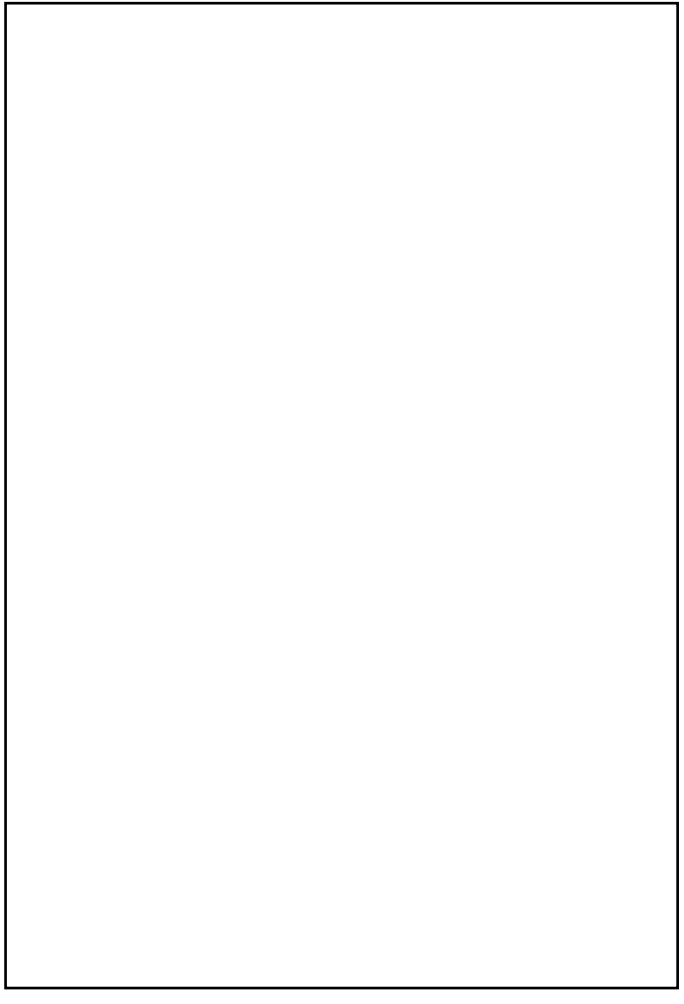
（啓林館　「わくわく算数　４下」　P.82）

（東京書籍　「新しい算数　４下」　P.50）

４年生
伴って変わる二つの数量を見いだす

領域の特性と系統性を踏まえた指導　※お悩み1・2への回答

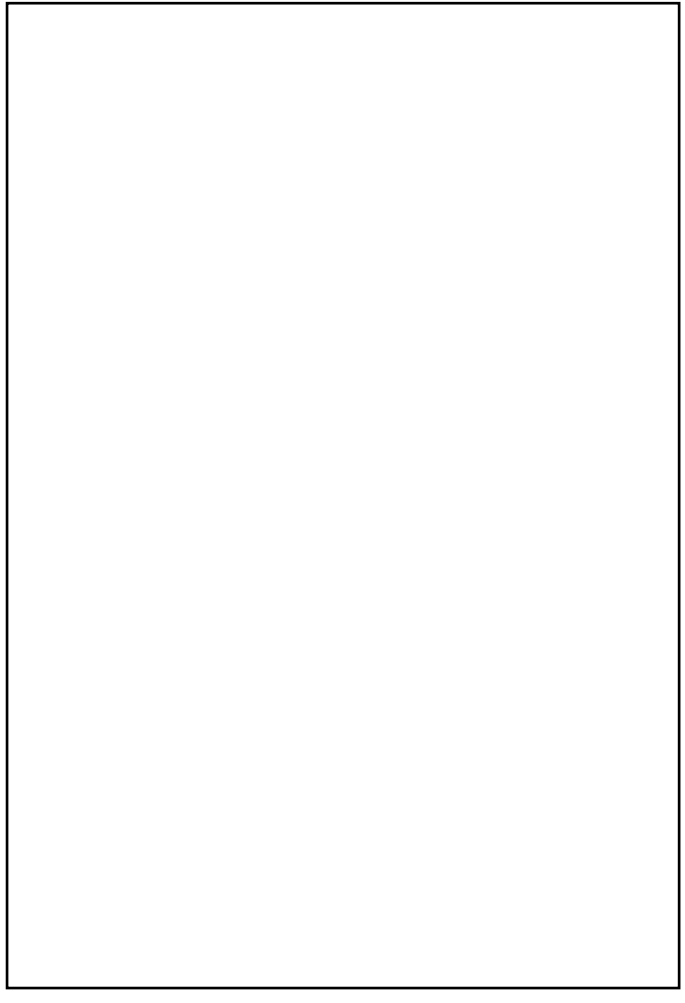


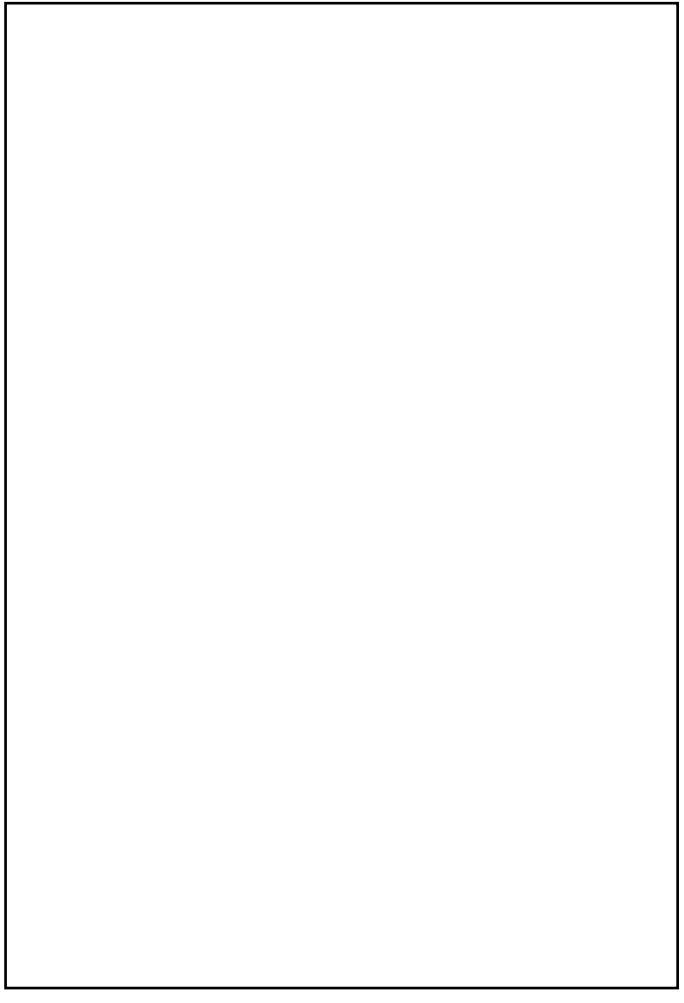


５年生
比例の関係について知る

（啓林館　「わくわく算数　５」　P.30・31）

領域の特性と系統性を踏まえた指導　※お悩み1・2への回答





５年生
比例の関係について知る

（東京書籍　「新しい算数　５上」　P.32・33）

領域の特性と系統性を踏まえた指導　※お悩み1･2への回答

（啓林館　「わくわく算数　６」　P.160・161）

６年生

比例の関係の意味や性質、比例の関係を用いた問題解決の方法、反比例について知る

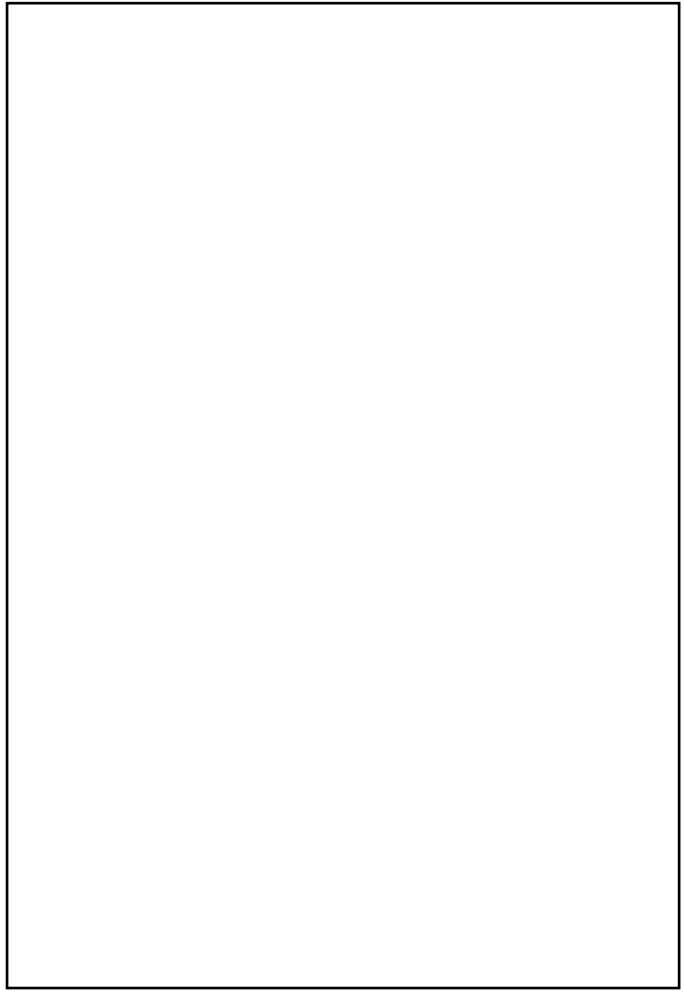
領域の特性と系統性を踏まえた指導　※お悩み1･2への回答

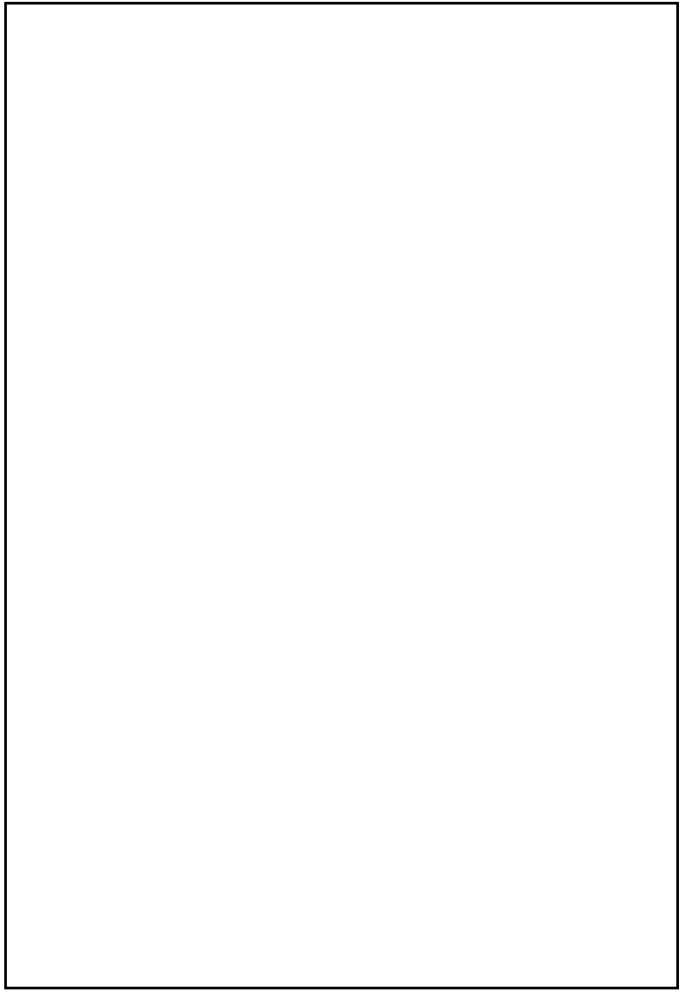
（東京書籍　「新しい算数　６」　P.156・157）

６年生

比例の関係の意味や性質、比例の関係を用いた問題解決の方法、反比例について知る

領域の特性と系統性を踏まえた指導　※お悩み1･2への回答





中学１年生
比例関係を関数として捉え直す

（啓林館　「未来へひろがる数学１」　P.118・129）

領域の特性と系統性を踏まえた指導　※お悩み1･2への回答

（東京書籍　「新しい数学１」　P.120・121）

中学１年生
比例関係を関数として捉え直す

領域の特性と系統性を踏まえた指導　※お悩み1･2への回答

（啓林館　「未来へひろがる数学２」　P.66・67）

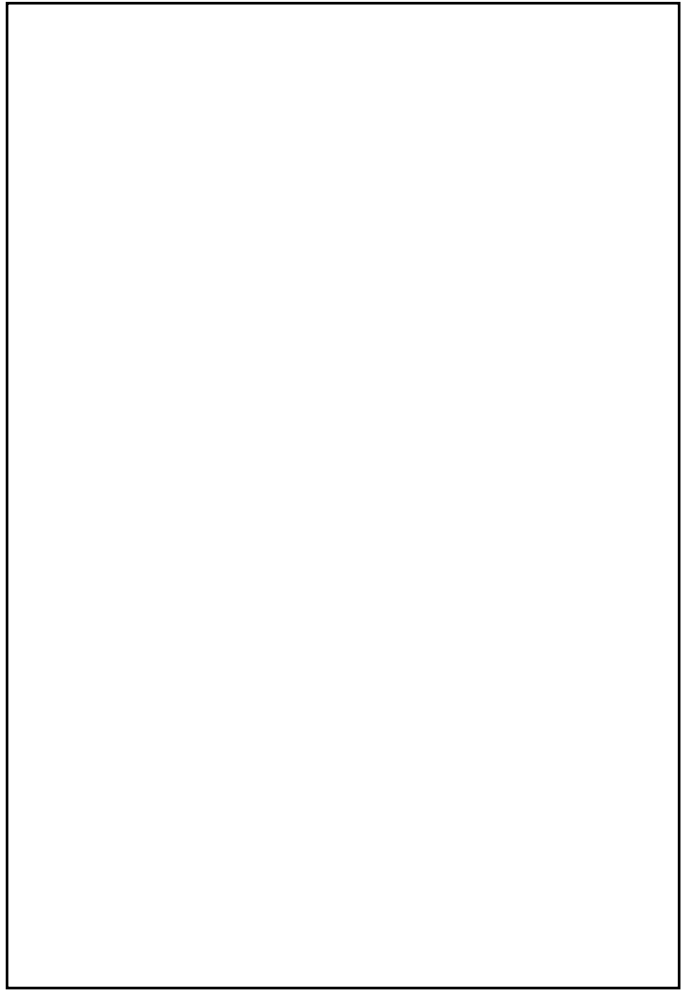
中学２年生
比例の学習の発展として一次関数について考察

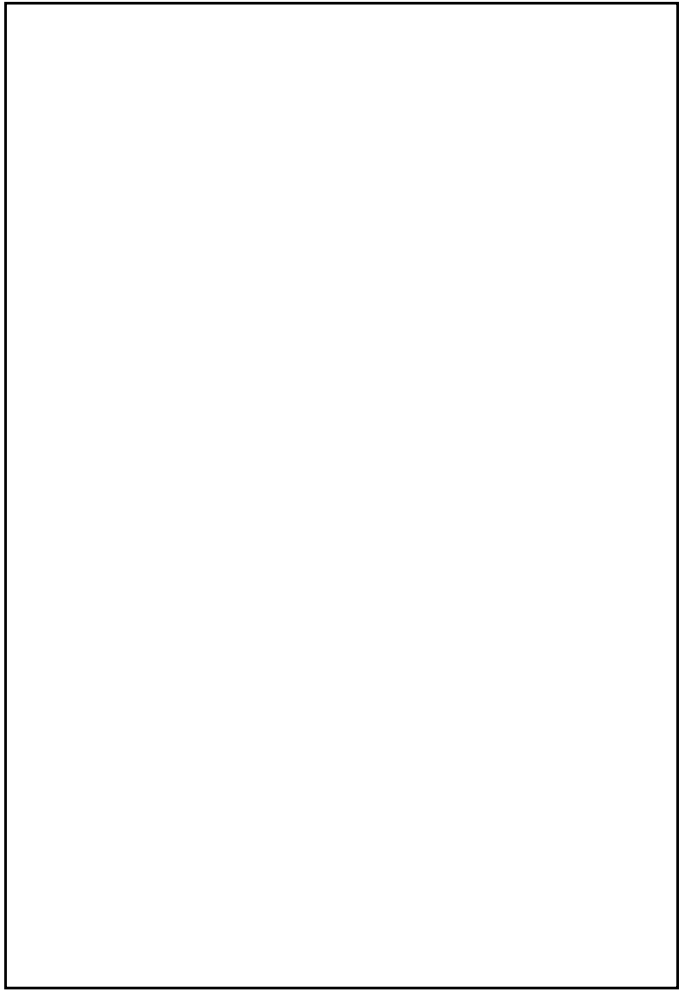
領域の特性と系統性を踏まえた指導　※お悩み1･2への回答

中学２年生
比例の学習の発展として一次関数について考察

（東京書籍　「新しい数学２」　P.65・66）

領域の特性と系統性を踏まえた指導　※お悩み1･2への回答

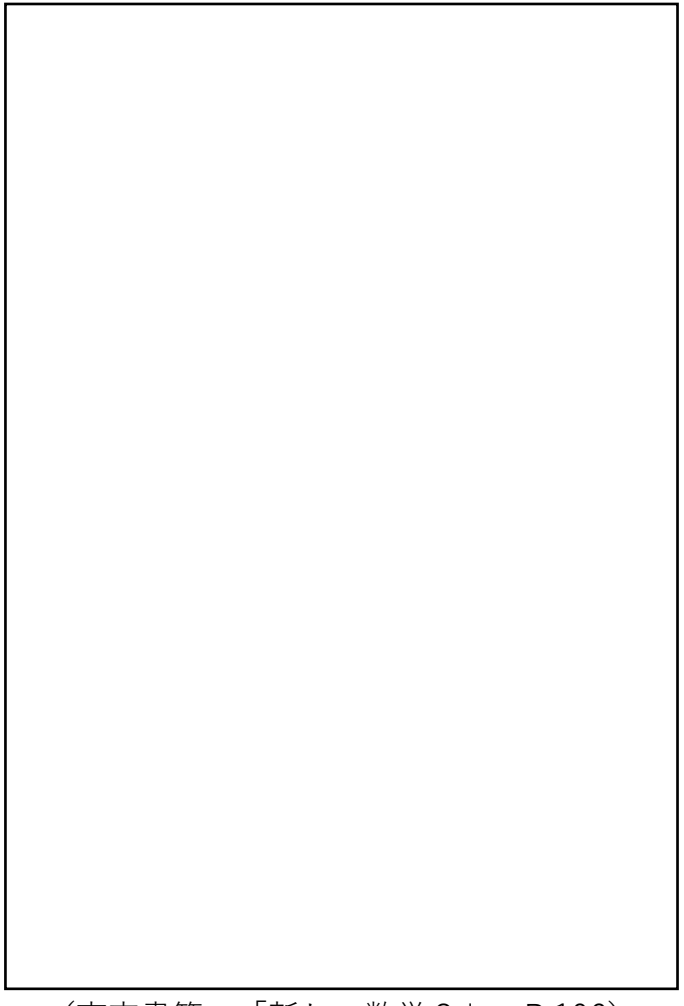




中学３年生
関数　$y = ax^2$
について考察

（啓林館　「未来へひろがる数学３」　P.100・101）

領域の特性と系統性を踏まえた指導　※お悩み1･2への回答



（東京書籍　「新しい数学３」　P.106）

中学３年生
関数　$y = ax^2$
について考察

領域の特性と系統性を踏まえた指導　※お悩み1・2への回答

関数で大切にする考え方

小学校

関数の考えを生かしていくために、次のようなことに配慮することが大切である。
第一に、ある場面での数量や図形についての事柄が、ほかのどんな事柄と関係するかに着目することである。例えば、ある数量が変化すれば、ほかの数量が変化するのかどうか。ある数量が決まれば、ほかの数量が決まるのかどうか。ある図形の要素などが決まれば、ほかの要素や事柄が決まるのかどうか。そうした関係に着目することで、二つの事柄の間の依存関係を調べることができるようになる。これが、関数の考えの第一歩である。その際、考察の対象となる事柄の範囲を明確にすることも大切である。

（小学校学習指導要領(平成29年告示)解説　算数編　P.63から抜粋）

中学校

関数関係とは、関係する二つの数量について、一方の値を決めれば他方の値がただ一つ決まるような関係を意味している。ここでは、二つの数量の関係について、「…は…の関数である」などの表現を用いて捉え、変化や対応の様子に注目して関数関係についての理解を深める。
関数についての学習の初期段階においては、小学校算数科で学習した比例、反比例は関数の一例であることを確認したり、身近な数量の関係の中に関数関係にあるものを確認したりすることを通して、関数の意味を理解できるようにすることが大切である。

（中学校学習指導要領(平成29年告示)解説　数学編　P.83から抜粋）

領域の特性と系統性を踏まえた指導　※お悩み1・2への回答

小学校「C 変化と関係」

学年	内容
4年生	1 伴って変わる二つの数量 変化の様子と表や式、折れ線グラフ 2 簡単な場合についての割合 簡単な場合についての割合
5年生	1 伴って変わる二つの数量の関係 簡単な場合の比例の関係 2 異種の二つの量の割合 速さなど単位量当たりの大きさ 3 割合（百分率） 割合／百分率
6年生	1 比例 比例の関係の意味や性質／比例の関係を用いた問題解決の方法／反比例の関係 2 比 比

（小学校学習指導要領(平成29年告示)解説　算数編　P.14・15）を参照

ある二つの数量の関係と
別の二つの数量の関係を
比べること

領域の特性と系統性を踏まえた指導　※お悩み1・2への回答

「くらべる」方法は大きく分けて2つ

比

（訓）くらべる

（意味）割合を用いてくらべる

較

（訓）くらべる

（意味）差を用いてくらべる

領域の特性と系統性を踏まえた指導　※お悩み1・2への回答

差を用いてくらべたり、割合を用いてくらべたりする

（啓林館　「わくわく算数　４上」　P.128　）

（東京書籍　「新しい算数　４上」　P.116　）

差は同じだけれど、基にする量が異なることに気付くと、割合を用いるよさを理解することができる。

領域の特性と系統性を踏まえた指導　※お悩み1・2への回答

二つの数量の関係と別の二つの数量の関係を比べるとは、A、Bという二つの数量の関係と、C、Dという二つの数量の関係どうしを比べることである。ここで、比べ方には大きく分けて、差を用いる場合と割合を用いる場合があると考えられる。「A君はBさんより3歳年上である。CさんはD君より5歳年上である。どちらの方が年齢差があるか。」では、AとBの関係とCとDの関係という二つの数量の関係どうしを、差でみて比べている。

一方、比べる対象や目的によって、割合でみて比べる場合がある。割合でみるとは、二つの数量を、個々の数量ではなく、数量の間の乗法的な関係でみていくことである。例えば、全体の中で部分が占める大きさについての関係どうしや、部分と部分の大きさの関係どうしを比べる場合は、割合でみていく。「シュートのうまさ」を、「シュートした数」と「入った数」という全体と部分の関係に着目して比べる場合などである。また、速さを比べる場合のように、距離と時間などの異種の量についての関係どうしを比べる場合も、割合でみていくことになる。

（小学校学習指導要領(平成29年告示)解説　算数編　P.63から抜粋）

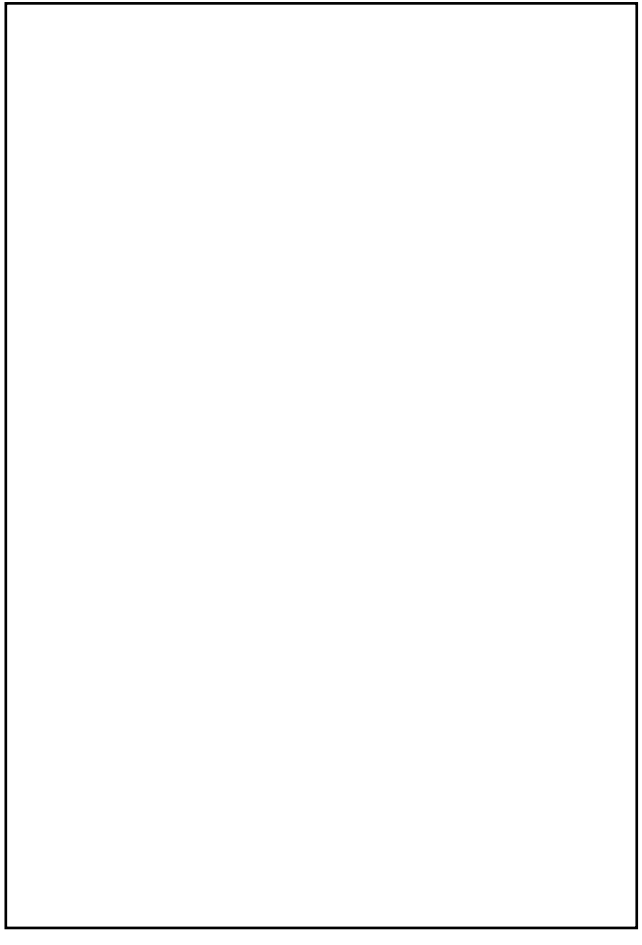
みなさんから寄せられたお悩み　※10月23日時点

お悩み①　領域の特性と系統性を踏まえた指導

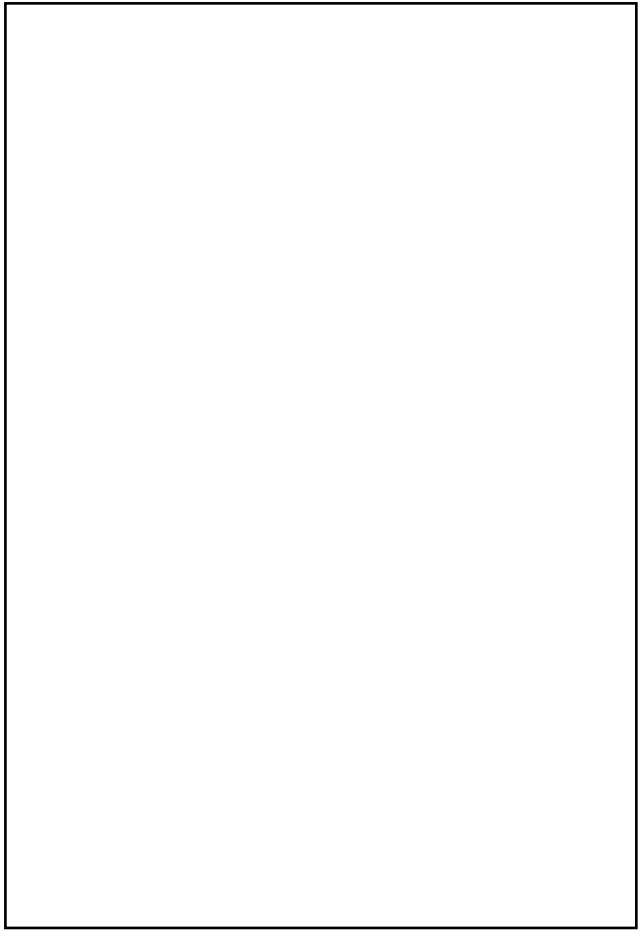
1. 変化と関係領域で、ここは必ず押さえておいてほしいことは、何ですか。
2. 速さや割合の単元の定着が難しい。「もとにする量」や「～を1とみる」という感覚をつかませるのが難しい。学区の中学校では関数を苦手とする生徒が多いと聞いたので、中学校の学習につなげるために意識するポイントを知りたい。
3. 「割合」の確実な定着にむけて、下学年時から気にしておくべき指導にはどのようなものがありますか。
4. 「割合」と聞いて拒否反応をすぐに示してしまう。
5. 全体の量、1あたりの量はわかっているが、答えの導き方がわかっていない児童が多い。

領域の特性と系統性を踏まえた指導　※お悩み3･4への回答

割合を用いて比べるために



（啓林館　「わくわく算数　1」　P.34　）

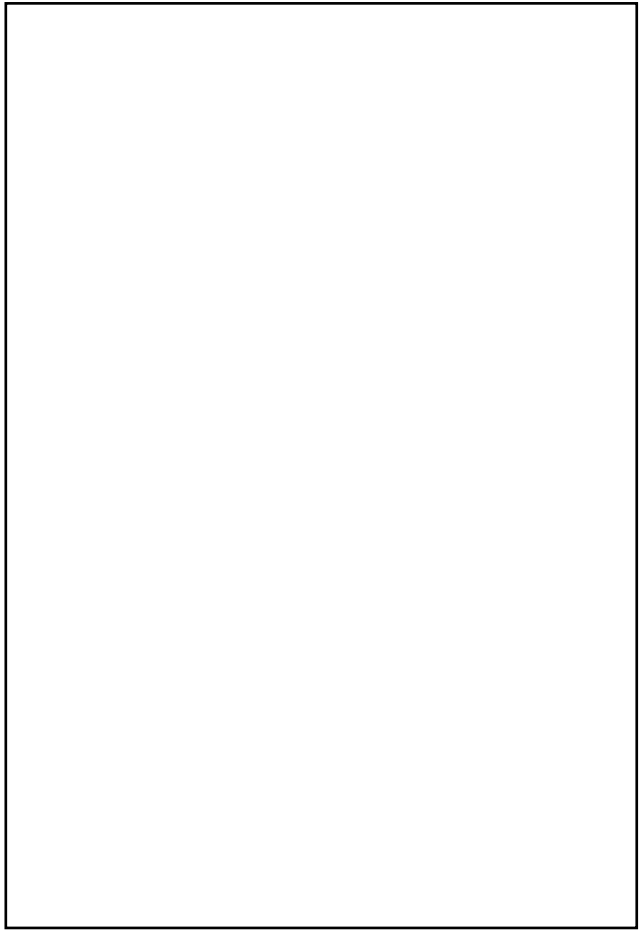


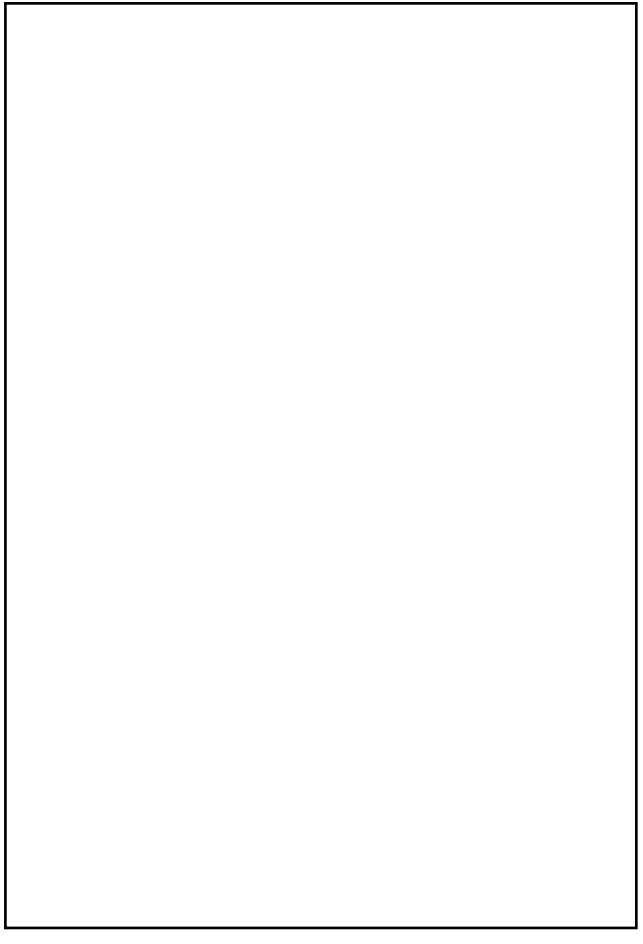
（東京書籍　「新しい算数　1」　P.40　）

１年生
まとめて数える

領域の特性と系統性を踏まえた指導　※お悩み3･4への回答

割合を用いて比べるために



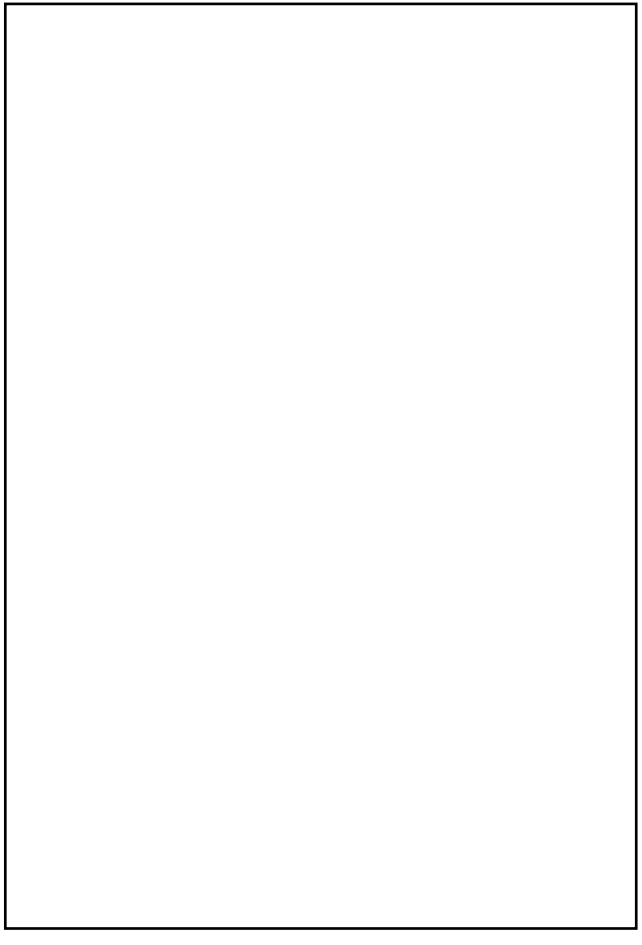


（啓林館　「わくわく算数　２下」　P.10・11　）

２年生
倍について理解する

領域の特性と系統性を踏まえた指導　※お悩み3･4への回答

割合を用いて比べるために

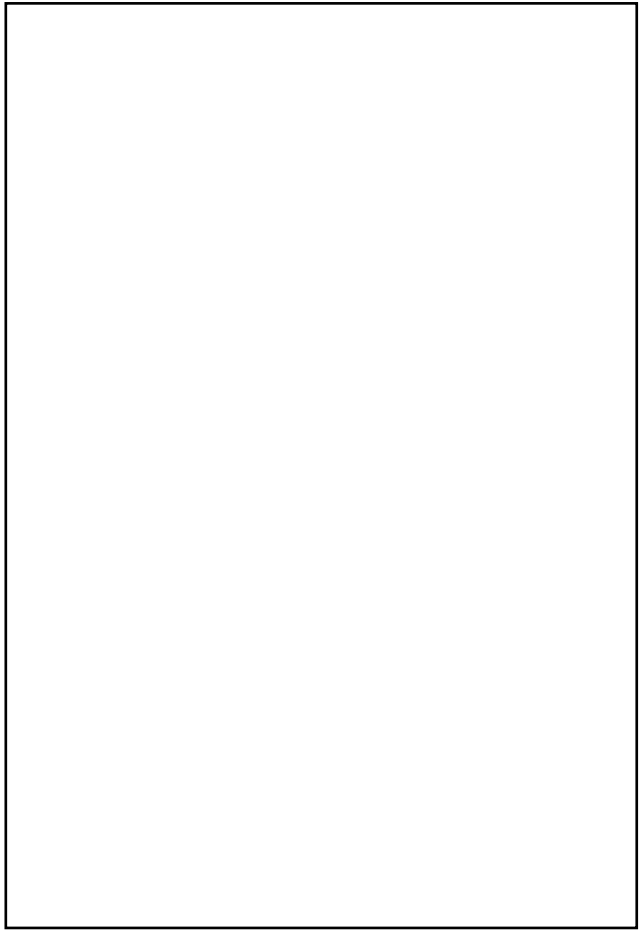


（東京書籍　「新しい算数　２下」　P.11　）

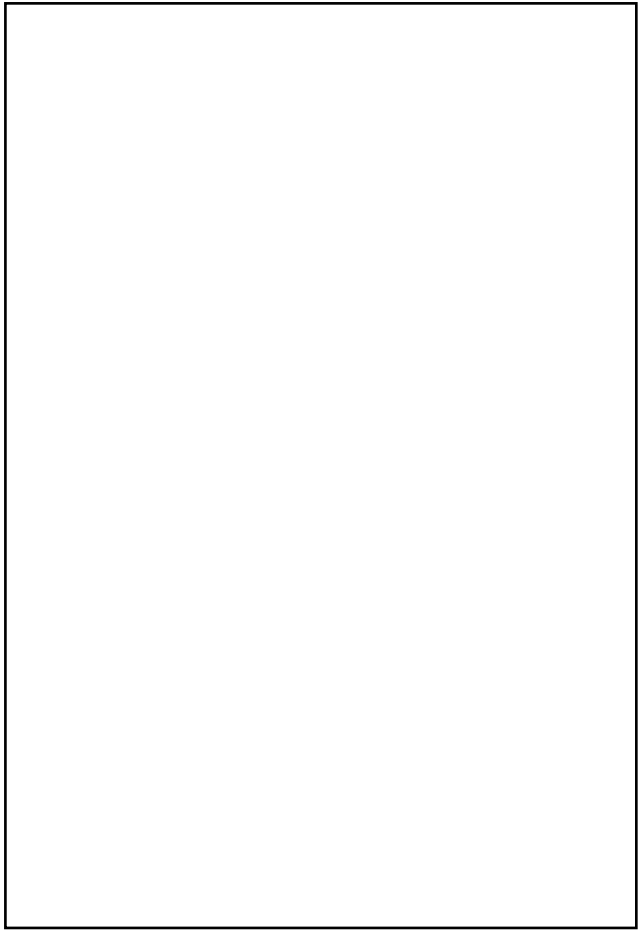
２年生
倍について理解する

領域の特性と系統性を踏まえた指導　※お悩み3･4への回答

割合を用いて比べるために



（啓林館　「わくわく算数　３下」　P.14）



（東京書籍　「新しい算数　３下　」　P.78　）

３年生
倍を求める

みなさんから寄せられたお悩み　※10月23日時点

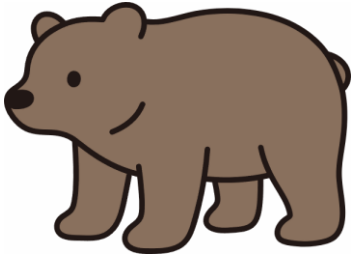
お悩み①　領域の特性と系統性を踏まえた指導

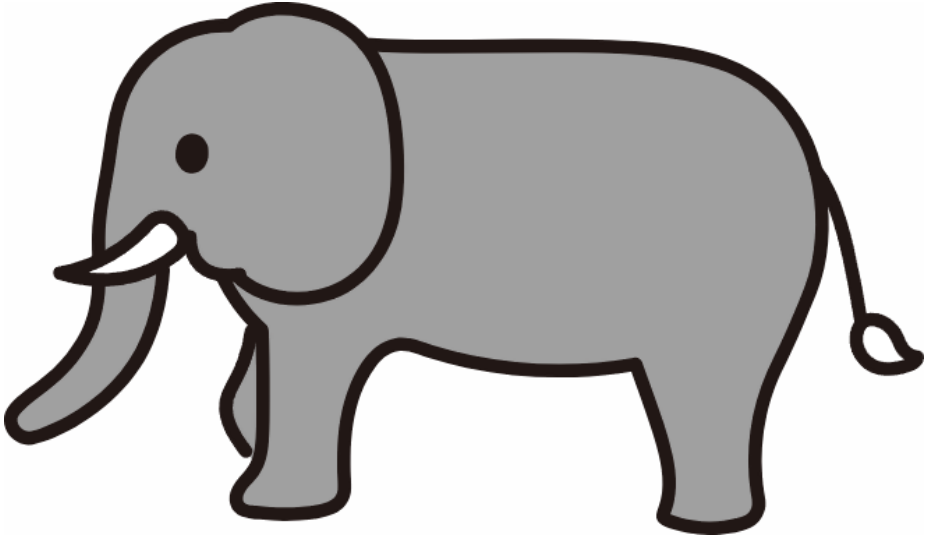
1. 変化と関係領域で、ここは必ず押さえておいてほしいことは、何ですか。
2. 速さや割合の単元の定着が難しい。「もとにする量」や「～を1とみる」という感覚をつかませるのが難しい。学区の中学校では関数を苦手とする生徒が多いと聞いたので、中学校の学習につなげるために意識するポイントを知りたい。
3. 「割合」の確実な定着にむけて、下学年時から気にしておくべき指導にはどのようなものがありますか。
4. 「割合」と聞いて拒否反応をすぐに示してしまう。
5. 全体の量、1あたりの量はわかっているが、答えの導き方がわかっていない児童が多い。

領域の特性と系統性を踏まえた指導　※お悩み5への回答

関係は「基準にする大きさ」よって変わる



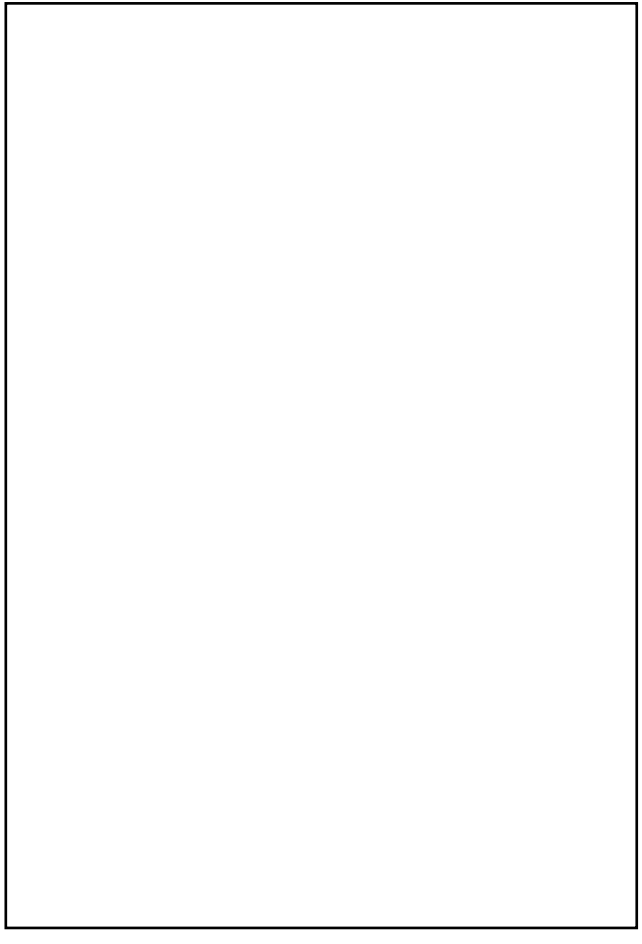




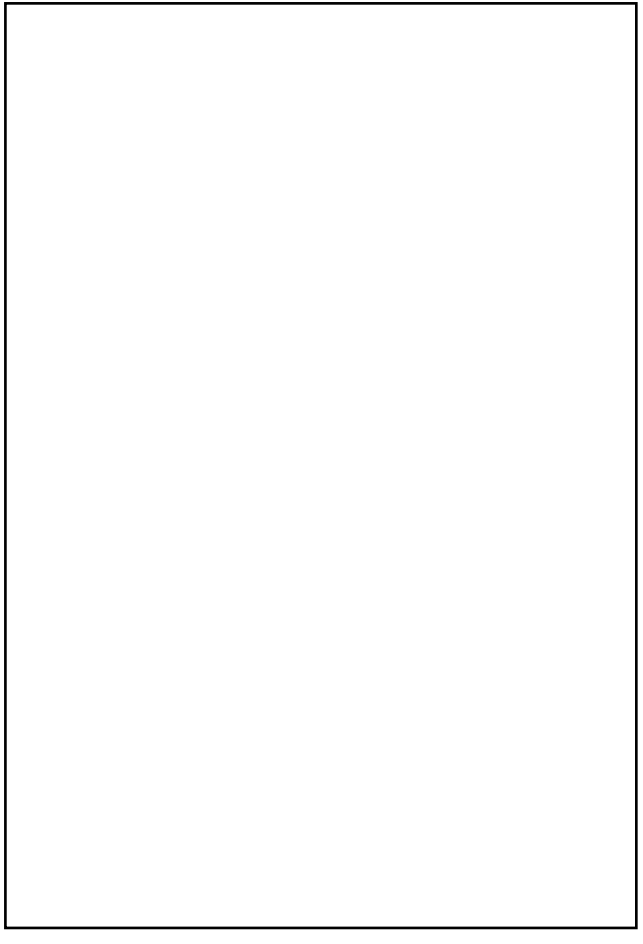
クマはいつも「大きい」とは言えない

領域の特性と系統性を踏まえた指導　※お悩み5への回答

関係は「基準にする大きさ」よって変わる



（啓林館　「わくわく算数　4 上」　P.128　）

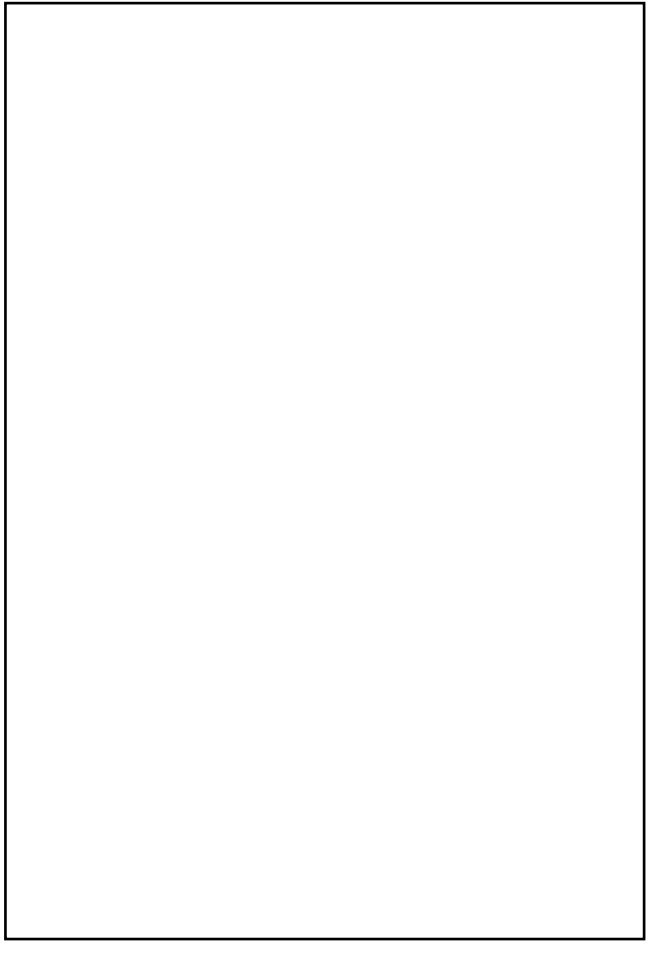


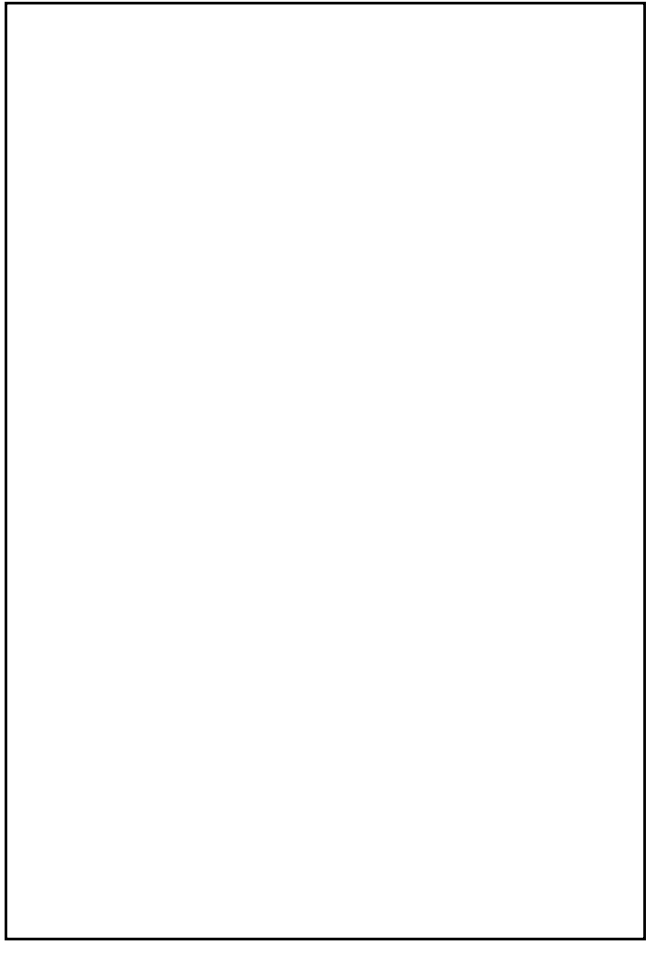
（東京書籍　「新しい算数　4 上」　P.116　）

絵や図を活用して関係を明確にしていく

領域の特性と系統性を踏まえた指導　※お悩み5への回答

関係は「そろえる量」によって見え方が変わる



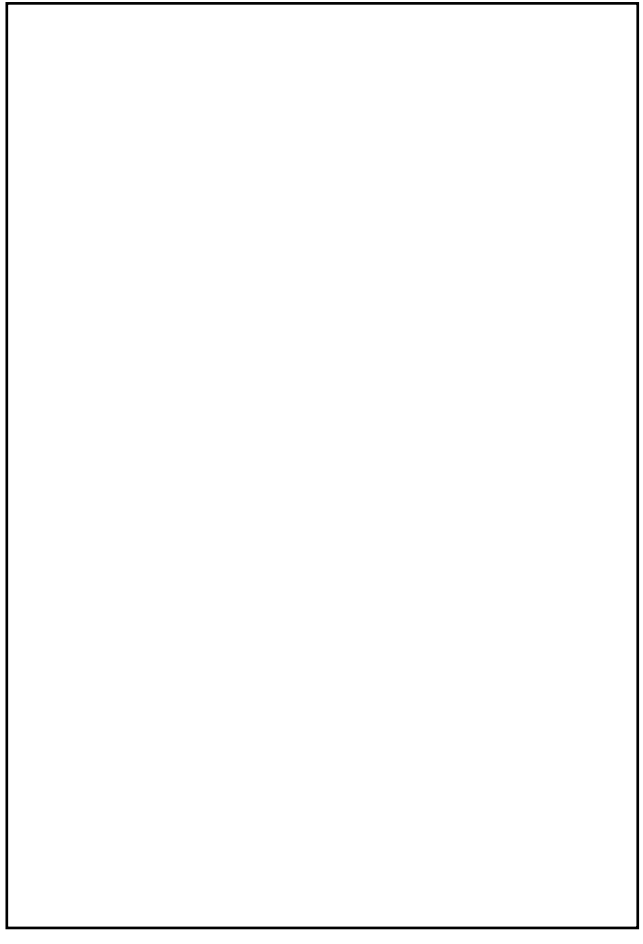


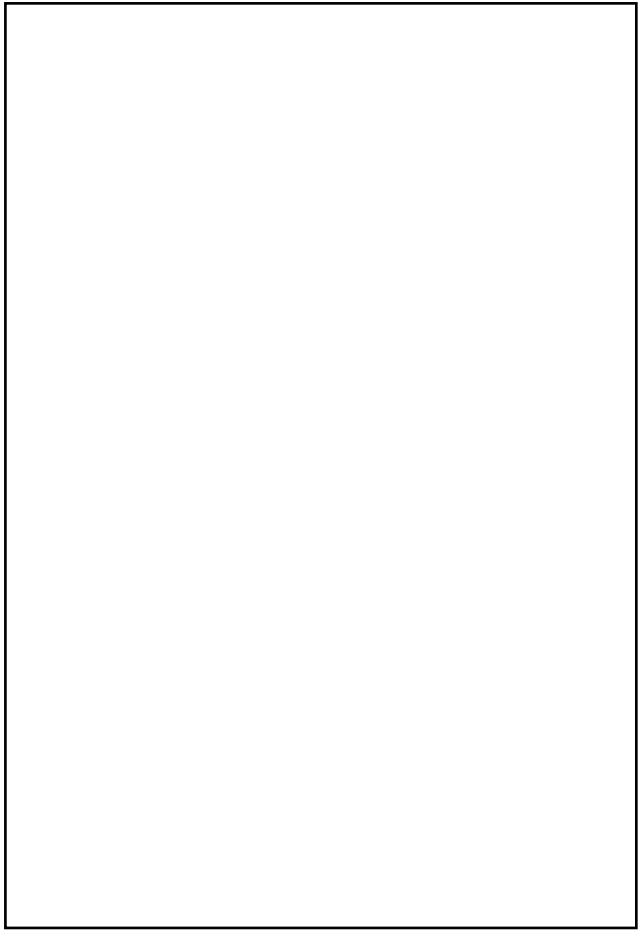
何にそろえたか
目に見えるよう
にする

（啓林館　「わくわく算数　5」　P.167・168　）

領域の特性と系統性を踏まえた指導　※お悩み5への回答

関係は「そろえる量」によって見え方が変わる





何にそろえたか
目に見えるよう
にする

（東京書籍　「新しい算数　5下」　P.27・28　）

領域の特性と系統性を踏まえた指導　※お悩み5への回答

関係は目に見えないから

現実の世界においては、二つの数量の関係を捉えることができれば、その関係が成り立つ範囲において、変化や対応の様子を把握したり、将来を予測したりすることが可能になる。しかし、一般に関数関係を目で見ることはできない。そこで、関数関係を捉えるために、表、式、グラフが用いられる。これらの数学的な表現を用いて処理したり、相互に関連付けて考察したりすることによって、現実の世界における数量の関係を数学の世界において考察することが可能になる。

（中学校学習指導要領(平成29年告示)解説　数学編　P.34から抜粋）

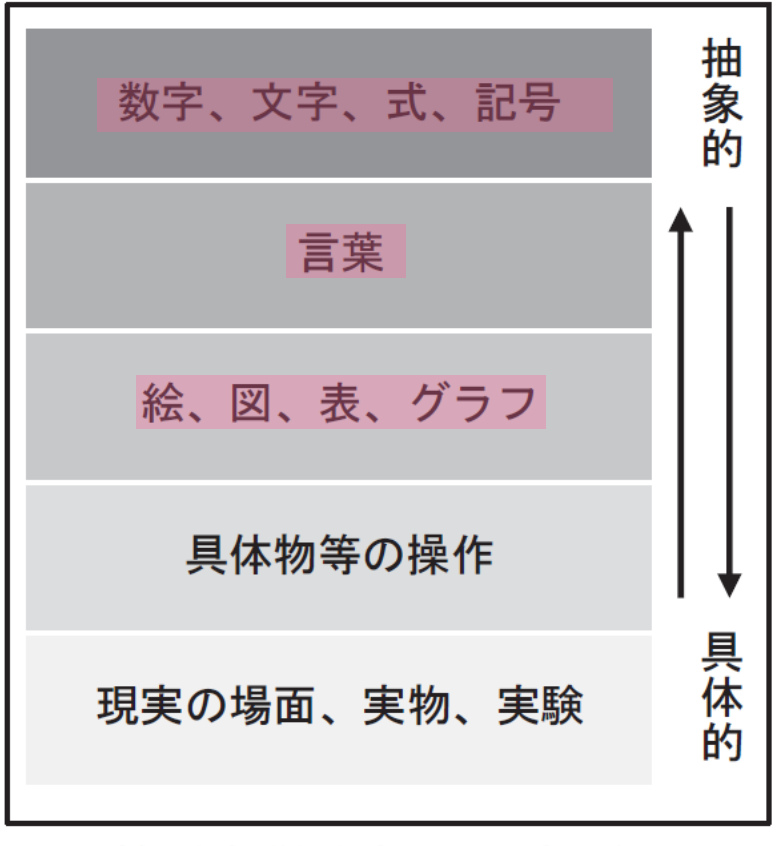
みなさんから寄せられたお悩み　※10月23日時点

お悩み②　具体と抽象を関連付ける指導の工夫

6. 問いに対する見通しをもたせる手立て
7. 問題文の内容を図に表すことや、立式することが非常に難しい児童が多く、指導が難しいです。
8. 量感をもたせること
9. 割合の単元でことばの式（もとにする量・比べる量・割合）を理解させるのが難しい。
13. X.Yなどの、記号が出てきたら、一気に難しく感じる様子がある。
14. 知的学級6年生を担当しているのですが、比例と反比例の単元で、 比例の関係を「y÷x＝決まった数」や「y＝決まった数 × x」の式で表すことが大変だと予想しています。x、yなどがある式をイメージしやすくする方法があれば教えてほしいです。 また、グラフに表すことも難しいと考えています。グラフを大きくしたり、縦軸と横軸を色分けする等の支援を考えているのですが、グラフをもっと読み取りやすく、的確に情報を整理できる支援方法があれば、教えてほしいです。
15. データと言葉を結びつけて思考する力が十分でなく、言葉で説明することが難しかったり、いろいろな言い方で聞かれると、わからなくなったりするので悩ましいです。
16. 多様な考えを引き出したり、多様な子どもたちが活躍できたりするにはどうしたらいいのかを学びたいと考えています。
17. 5年「割合とその活用」「速さ」の単元で、算数が苦手な児童もすっきりと理解できる指導の仕方

具体と抽象を関連付ける指導の工夫　※お悩み6～9への回答

「C　変化と関係」における「様々な数学的な表現」

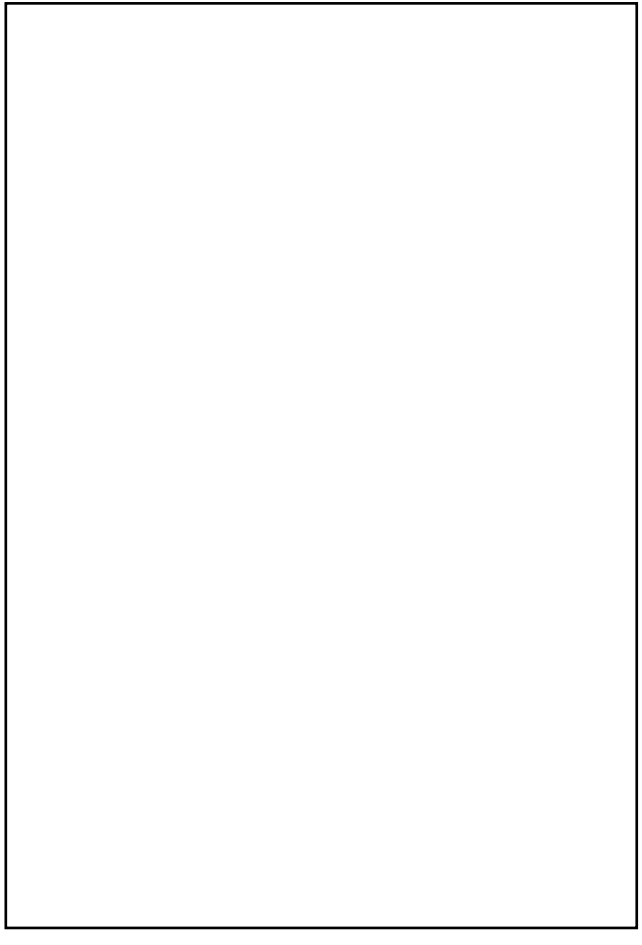


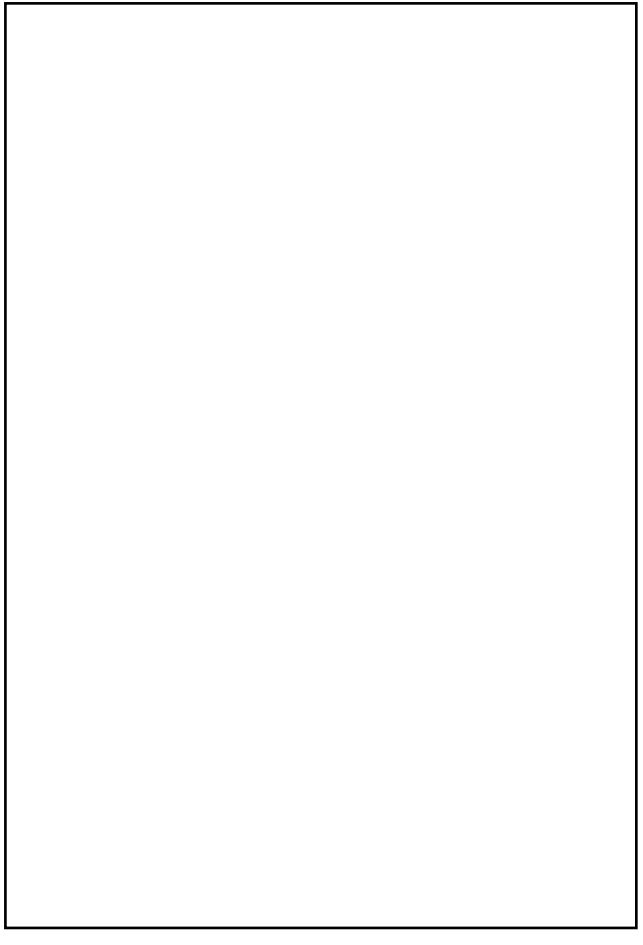
様々な数学的な表現の関係性の例

（　指導資料「小学校算数の指導改善に向けた教師の学び」　P.13）

それぞれの表現の意味を理解し、
関連付けることが重要

具体と抽象を関連付ける指導の工夫　※お悩み6～9への回答

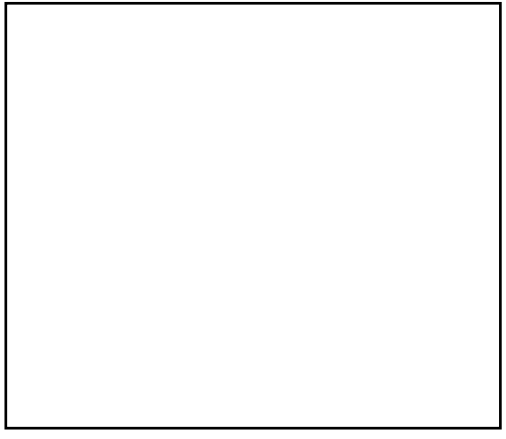


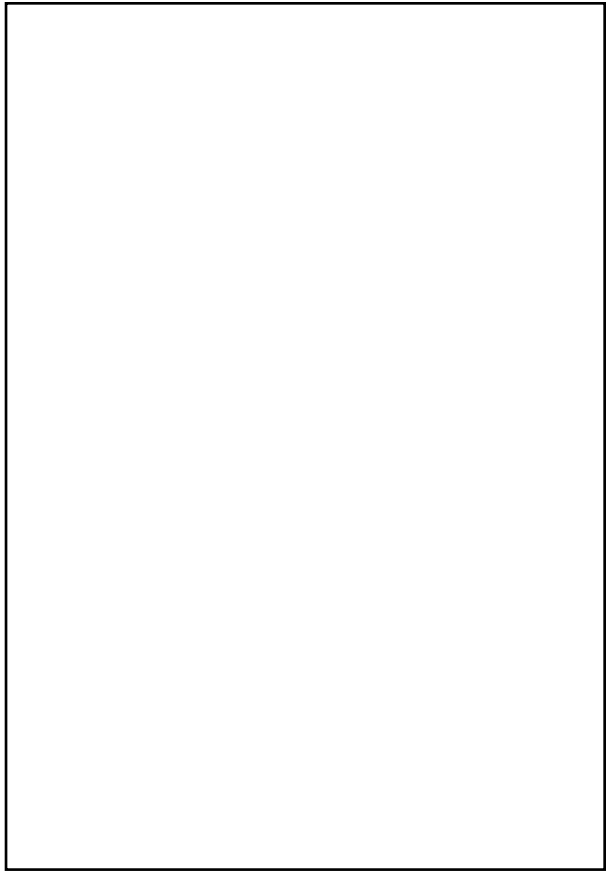


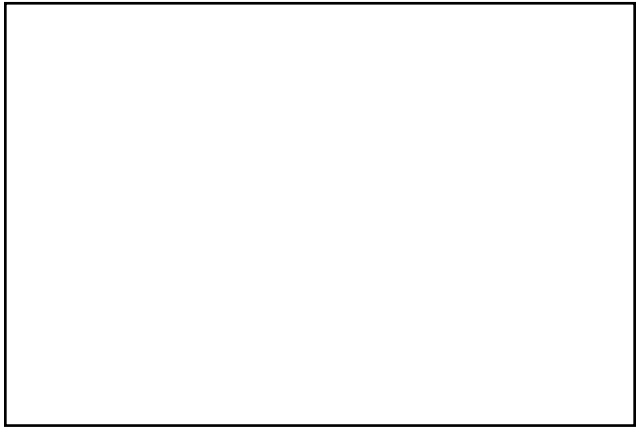
（啓林館　「わくわく算数　5」　P.174・175　）

手を動かしたり、指でなぞったりして絵や図を動的に見る練習をする。

具体と抽象を関連付ける指導の工夫　※お悩み6～9への回答







手を動かしたり、指でなぞったりして絵や図を動的に見る練習をする。

（東京書籍　「新しい算数　５下」　P.66～68　）

みなさんから寄せられたお悩み　※10月23日時点

お悩み②　具体と抽象を関連付ける指導の工夫

6．問いに対する見通しをもたせる手立て

7．問題文の内容を図に表すことや、立式することが非常に難しい児童が多く、指導が難しいです。

8．量感をもたせること

9．割合の単元でことばの式（もとにする量・比べる量・割合）を理解させるのが難しい。

13.X.Yなどの、記号が出てきたら、一気に難しく感じる様子がある。

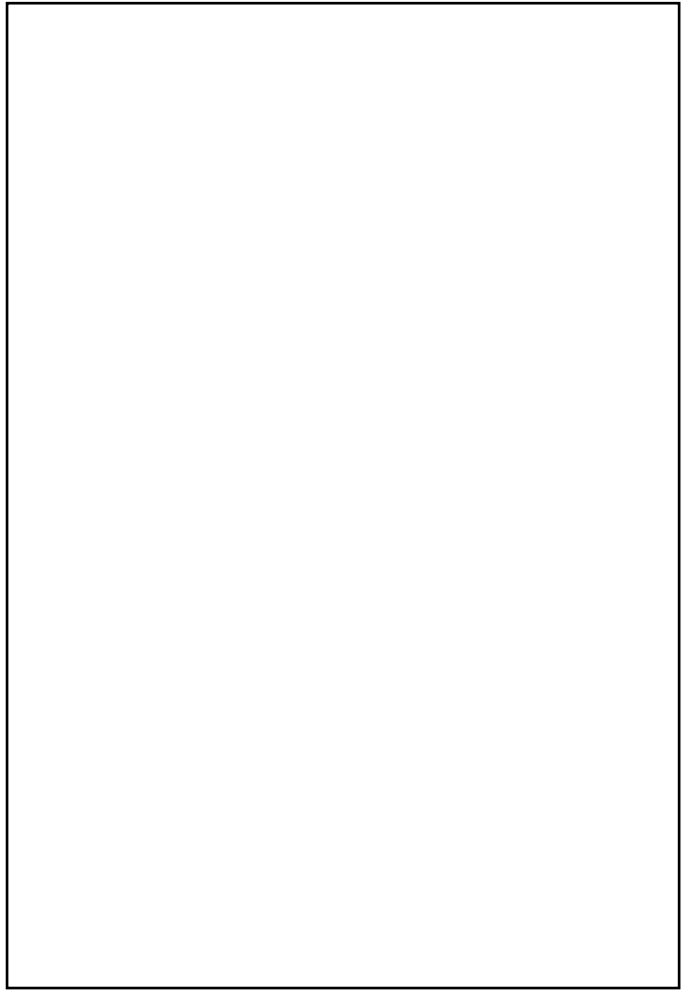
14.知的学級6年生を担当しているのですが、比例と反比例の単元で、 比例の関係を「y÷x＝決まった数」や「y＝決まった数 × x」の式で表すことが大変だと予想しています。x、yなどがある式をイメージしやすくする方法があれば教えてほしいです。 また、グラフに表すことも難しいと考えています。グラフを大きくしたり、縦軸と横軸を色分けする等の支援を考えているのですが、グラフをもっと読み取りやすく、的確に情報を整理できる支援方法があれば、教えてほしいです。

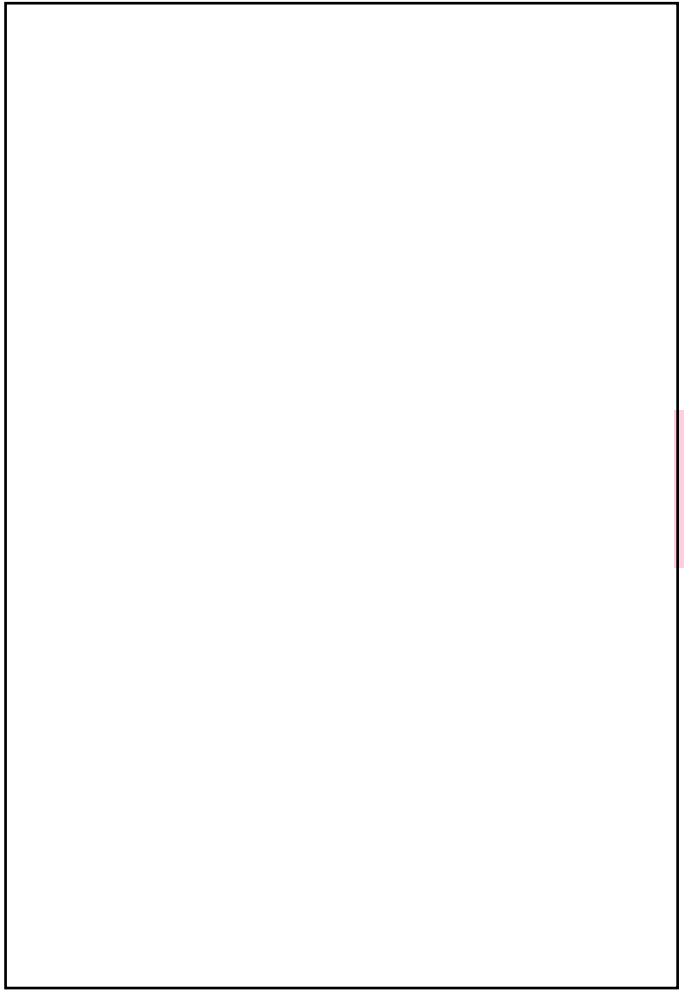
15.データと言葉を結びつけて思考する力が十分でなく、言葉で説明することが難しかったり、いろいろな言い方で聞かれると、わからなくなったりするので悩ましいです。

16.多様な考えを引き出したり、多様な子どもたちが活躍できたりするにはどうしたらいいのかを学びたいと考えています。

17.5年「割合とその活用」「速さ」の単元で、算数が苦手な児童もすっきりと理解できる指導の仕方

具体と抽象を関連付ける指導の工夫　※お悩み13･14への回答





抽象化したことを具体に戻す

（啓林館　「わくわく算数　6」　P.160・161　）

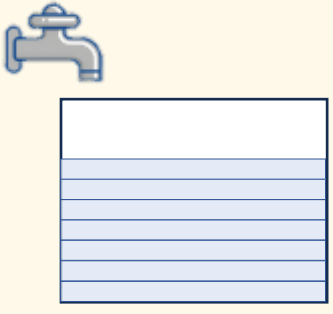
具体と抽象を関連付ける指導の工夫　※お悩み13･14への回答

抽象化したことを
具体に戻す

（東京書籍　「新しい算数　6」　P.156・157　）

具体と抽象を関連付ける指導の工夫 ※お悩み13・14への回答

絵 「絵で言うとどの部分？」



式

$$y = 2 \times x$$

$$\begin{aligned}
2 &= 2 \times 1 \\
4 &= 2 \times 2 \\
6 &= 2 \times 3 \\
8 &= 2 \times 4 \\
10 &= 2 \times 5 \\
12 &= 2 \times 6 \\
14 &= 2 \times 7
\end{aligned}$$

グラフ 「グラフで言うとどの部分？」

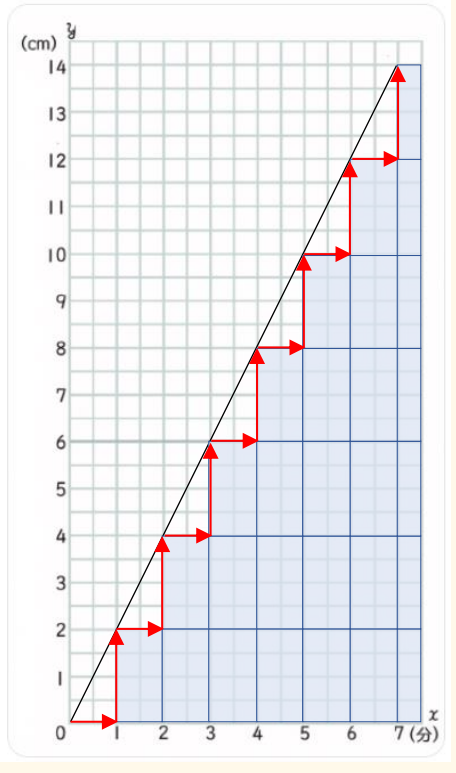


表 「表で言うとどの部分？」

x（分）	0	1	2	3	4	5	6	7
y（cm）	0	2	4	6	8	10	12	14

それぞれの表現を一対一対応させることで、
変わるものの中から変わらないものを見つけることができる。

みなさんから寄せられたお悩み　※10月23日時点

お悩み②　具体と抽象を関連付ける指導の工夫

6．問いに対する見通しをもたせる手立て

7．問題文の内容を図に表すことや、立式することが非常に難しい児童が多く、指導が難しいです。

8．量感をもたせること

9．割合の単元でことばの式（もとにする量・比べる量・割合）を理解させるのが難しい。

13.X.Yなどの、記号が出てきたら、一気に難しく感じる様子がある。

14.知的学級6年生を担当しているのですが、比例と反比例の単元で、 比例の関係を「y÷x＝決まった数」や「y＝決まった数 × x」の式で表すことが大変だと予想しています。x、yなどがある式をイメージしやすくする方法があれば教えてほしいです。 また、グラフに表すことも難しいと考えています。グラフを大きくしたり、縦軸と横軸を色分けする等の支援を考えているのですが、グラフをもっと読み取りやすく、的確に情報を整理できる支援方法があれば、教えてほしいです。

15.データと言葉を結びつけて思考する力が十分でなく、言葉で説明することが難しかったり、いろいろな言い方で聞かれると、わからなくなったりするので悩ましいです。

16.多様な考えを引き出したり、多様な子どもたちが活躍できたりするにはどうしたらいいのかを学びたいと考えています。

17.5年「割合とその活用」「速さ」の単元で、算数が苦手な児童もすっきりと理解できる指導の仕方

具体と抽象を関連付ける指導の工夫　※お悩み15への回答

なお、割合は、「Bを基にしたAの割合」、「Bの□倍がA」など、様々な表現で示されるため、割合を示す表現の中から、基準量や比較量を明確にすることも必要となる。

（小学校学習指導要領(平成29年告示)解説　算数編　P.268）

理解した関係を別の言い方で表現する練習をする。

例えば…
「シュートした回数の15回を1とみると、入った回数の9回は0.6にあたる。」

→「シュートした回数の15回を基にした入った回数の9回の割合は0.6。」
「シュートした回数の15回の0.6倍が入った回数の9回。」

みなさんから寄せられたお悩み　※10月23日時点

お悩み②　具体と抽象を関連付ける指導の工夫

6．問いに対する見通しをもたせる手立て

7．問題文の内容を図に表すことや、立式することが非常に難しい児童が多く、指導が難しいです。

8．量感をもたせること

9．割合の単元でことばの式（もとにする量・比べる量・割合）を理解させるのが難しい。

13.X.Yなどの、記号が出てきたら、一気に難しく感じる様子がある。

14.知的学級6年生を担当しているのですが、比例と反比例の単元で、 比例の関係を「y÷x＝決まった数」や「y＝決まった数 × x」の式で表すことが大変だと予想しています。x、yなどがある式をイメージしやすくする方法があれば教えてほしいです。 また、グラフに表すことも難しいと考えています。グラフを大きくしたり、縦軸と横軸を色分けする等の支援を考えているのですが、グラフをもっと読み取りやすく、的確に情報を整理できる支援方法があれば、教えてほしいです。

15.データと言葉を結びつけて思考する力が十分でなく、言葉で説明することが難しかったり、いろいろな言い方で聞かれると、わからなくなったりするので悩ましいです。

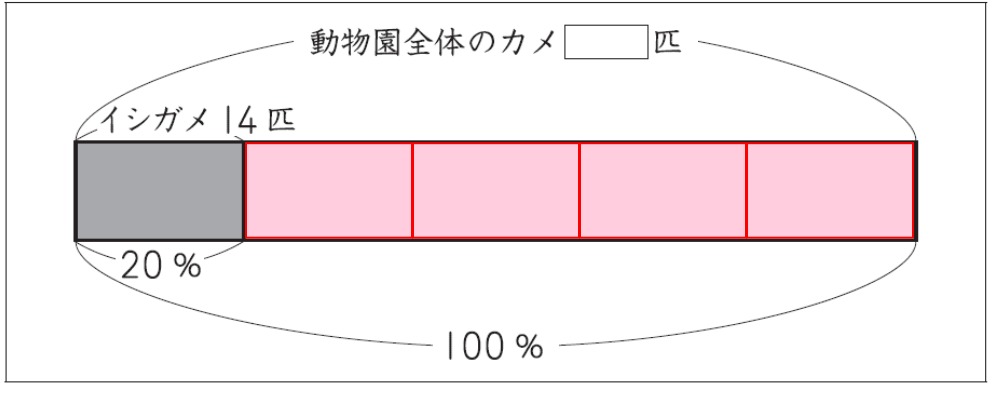
16.多様な考えを引き出したり、多様な子どもたちが活躍できたりするにはどうしたらいいのかを学びたいと考えています。

17.5年「割合とその活用」「速さ」の単元で、算数が苦手な児童もすっきりと理解できる指導の仕方

具体と抽象を関連付ける指導の工夫　※お悩み16･17への回答

多様に考えるために、すっきり考えるために図を活用する

(2)　この動物園にはいろいろなカメがいます。そのうちイシガメは 14 匹(ひき)います。イシガメの数は動物園全体のカメの数の 20 %です。



この動物園全体にはカメが何匹いますか。

求める式とその答えを書きましょう。

（令和８年度全国学力・学習状況調査　小学校算数　大問２（２））

100%のときのカメの数を求めるのか。

20%でカメは14匹ということは･･･

40%でカメは14×2匹、

60%でカメは14×3匹、

80%でカメは14×4匹、

100%でカメは14×5匹で求められるぞ。



みなさんから寄せられたお悩み　※10月23日時点

お悩み③　個のつまずきに応じた支援

18.単位量当たりの大きさ、割合の継続的な指導。1時間の授業で?のついた児童は次の時間からも?が増えていく一方。どのようにして継続して指導するのが効果的か。また、例えば5年の単位量当たりの大きさの1時を1時間で収めるには、どのような流れが児童にとって良いのか。児童の実態としては、中間層が少ない、上下層が半々だとした場合。

個のつまずきに応じた支援 ※お悩み18への回答

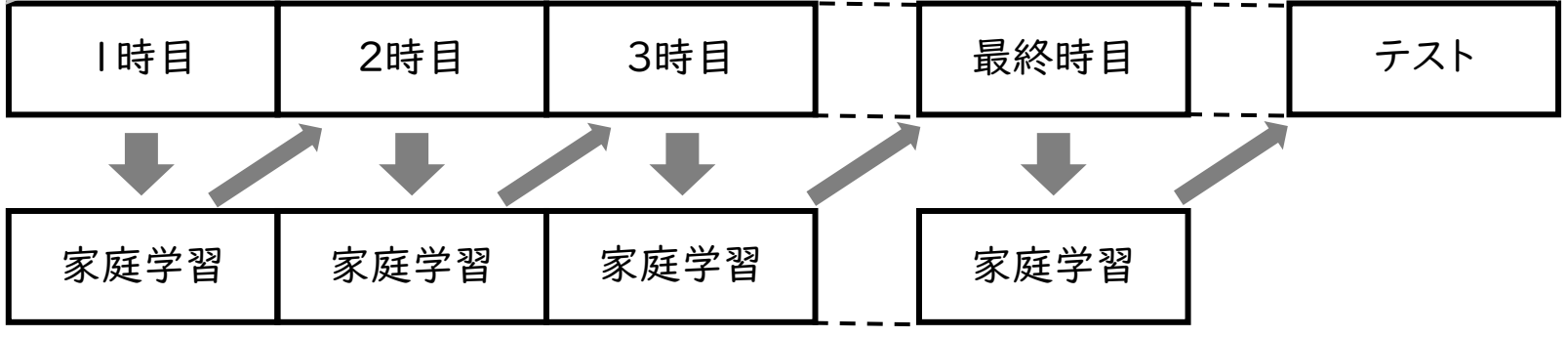
児童の定着状況を見取る機会を増やす

単元の学習前

レディネスチェック

単元の学習後

補充問題



単元の学習中

練習問題と家庭学習

定着状況を見取り、必要に応じて個別対応を行う。